

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-512949 (P2005-512949A)  
 【公表日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-018  
 【出願番号】特願 2002-592943 (P2002-592943)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 9/12  
 A 6 1 K 31/567  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 K 9/12  
 A 6 1 K 31/567  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 6 日 (2005.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

せん妄の症状の改善を必要とする患者において、せん妄の症状を改善するための医薬の調製における、グルココルチコイドレセプターアンタゴニストの使用であって、ただし該患者は、せん妄の症状の改善を必要としないのであれば、該グルココルチコイドレセプターアンタゴニストで処置される必要がない、使用。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、ステロイド骨格を含み、該ステロイド骨格は、該ステロイド骨格の 1 1 - 位置に少なくとも 1 つのフェニル含有部分を有する、使用。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の使用であって、前記ステロイド骨格の 1 1 - 位置における前記フェニル含有部分は、ジメチルアミノフェニル部分である、使用。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、ミフェプリストンを含む、使用。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、R U 0 0 9 および R U 0 4 4 からなる群より選択される、使用。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、1 日あたり体重 1 k g あたり約 0 . 5 ~ 約 2 0 m g の間の毎日の量で投与するために処

方される、使用。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、1 日あたり体重 1 k g あたり約 1 ～約 1 0 m g の間の毎日の量で投与するために処方される、使用。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の使用であって、前記グルココルチコイドレセプターアンタゴニストは、1 日あたり体重 1 k g あたり約 1 ～約 4 m g の間の毎日の量で投与するために処方される、使用。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の使用であって、前記投与が 1 日あたり 1 回である、使用。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の使用であって、投与様式が経口である、使用。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の使用であって、投与様式が、経皮適用によるか、霧状化させた懸濁物によるか、またはエアロゾルスプレーによる、使用。

【請求項 12】

せん妄の症状の改善を必要とする患者において、せん妄の症状を改善するための組成物であって、該組成物が、せん妄の症状を改善するに有効な量のグルココルチコイドレセプターアンタゴニストを含み、ただし該患者は、せん妄の症状の改善を必要としないのであれば、該グルココルチコイドレセプターアンタゴニストで処置される必要がない、組成物

。